

原材料の生産過程を自ら積極的に勉強し、商品の品質をアピールしている食品メーカー

札幌市の池田食品(株)(従業員 30 名・資本金 2,000 万円)は、北海道産の大豆を活用した豆製品を製造している。同社は、原材料の生産過程を自ら勉強し、商品の品質を消費者に知ってもらう努力を行っている。

社長自身が、札幌市農政課が主催する市民農業講座「さっぽろ農学校」に参加。半年間に渡り札幌市農業支援センターにおいて座学と実習を行い、原材料の生産者についての理解を深めるとともに、原材料の生産過程を消費者に十分説明できるまでの知識を習得した。消費者は、インターネットやブログの影響で商品に詳しくなっており、企業側も消費者の要望に応えられる知識が必要となっている。単に地域特有のものを使用するだけではなく、地域資源の特徴を自らが把握し、消費者に理解してもらうことが大切である。

同社は、これらの活動の積み重ねは、消費者の需要に沿った地域資源の新たな創作の可能性を生み出し、他の地域や近隣諸国との競争力を高め、更には地域全体の競争力を高めることに繋がると確信している。

北海道産の大豆を使用した創作豆

